

令和7年度 施政方針と予算の概要をお知らせします



市議会定例会の初日(2月26日)に、臼井市長が市政運営の基本方針を、山下教育長が教育施策推進の基本的考え方を表明しました。その概要をお知らせします。全文は、市役所2階行政資料コーナー及び市ホームページでご覧いただけます。



市長就任3期目を迎えて

人口減少社会と言われる中、連綿と継続してきた魅力あるまちづくりにより、本市の人口は、転入超過による微増傾向が続いている。更なる市の発展に向け、その責任の重さを痛感しているところです。

改めて、初心に立ち返り、謙虚さを忘れず、現場主義を貫き、将来都市像「水と緑が育む ふるさと昭島」の実現に向けて取り組みます。

子育てしやすいまちづくり

子どもは国の宝であり、昭島の宝です。日本全体で深刻な少子化が進む中、望む方が結婚・出産・子育てを実現でき、子どもたちの健やかな成長を地域全体で支える社会を形成していくことがますます重要となります。

市内では大規模なマンションの建設が続き、局所的、短期的に子育て世代の方の増加が見込まれます。子育て関連施設をはじめとするさまざまなニーズへ対応するとともに、この先の人口の変動に細心の注意を払っていく必要があります。

一方で、子育て中の方を含め、現役世代の人口が増加することは、大きなチャンスもあります。本市の発展、そして、子育てしやすいまちづくりの一層の推進に向け、全庁を挙げて取り組みます。

公共施設の老朽化への対応

公共施設の機能を良好に保ち、安全な利用を確保するための維持管理は、地方自治体の最重要責務の一つです。これまで、市民サービスの維持・向上を前提とし、老朽度合いに応じた長寿命化をはじめ、施設の特性に応じた適切な維持・管理に努めてきました。

一方で、各施設の劣化状況などの調査を進める中、全体的な課題が明らかになってきました。将来のまちの姿を総合的に見据える中で、一連の調査結果をじゅうぶんに精査し、個別施設計画の改定に着手します。

清掃センターは、本格稼働から30年目を迎えます。



今後の可燃ごみ処理手法は、市内外の状況や社会経済情勢に鑑み、熟慮を重ねているところです。引き続き、関係機関などとの相談・調整を継続し、慎重に検討を進めます。



民間事業者による大規模開発への対応

昭島駅北側における、民間事業者による土地利用計画に対して、市民の皆様が抱く心配や不安はじゅうぶんに理解するところです。引き続き、必要な対応を強く事業者に求めるとともに、交通管理者である警察などの関係機関と連携した協議、市の都市計画マスタートップラン(※1)に即したまちづくりに資する地区計画の策定、代官山緑地保全のための条例化など、できることを一つ一つ確実に進めます。

また、周辺地域への影響が危惧される大規模開発が、他自治体でも計画されていると聞いております。生活環境の保全を図るために法整備について、市長会を通じて要請したいと考えています。

米軍横田基地への対応

我が国周辺を取り巻く安全保障環境の厳しい情勢を捉えますと、米軍横田基地が平和と安全のために果たす役割は、重要度を増していると認識しています。

一方、オスプレイをはじめとする航空機運用や、PFOS(※2)などを含む汚染水の漏出への不安など、基地周辺地域では市民生活への影響が増大しています。引き続き、都や周辺市町と連携し、諸課題の解決に向けて取り組んでいきます。

物価高騰への対応

市民や事業者の方々は、足下の物価上昇と先行きに不安を募らせていると受け止めています。こうした中、水道料金・下水道使用料の基本料金減免事業を本年2月・3月検針分について実施し、喜びの声が寄せられています。

日本の経済は、緩やかな回復が続くことが期待されている一方で、この先の物価動向は不透明です。国や都の動向を注視する中で、市民生活、地域経済を下支えする施策を展開します。

教育の推進について

教育委員会と市長部局との強固な連携のもと、責任のある教育の実施に努めます。そして、子どもたちの成長をしっかりと支え、昭島の未来、我が国の未来を担う人材の育成に向け全力で取り組みます。

学校教育

自らの個性や能力を伸ばし、困難を乗り越え、人生を切り拓いていく、心身ともに健全・健康で、知・徳・体が調和した人間性を育むとともに、ふるさと昭島の自然と文化を愛し、社会に主体的に貢献できる「たくましい昭島っ子」の育成に努めます。



そして、児童・生徒が学んで楽しい、先生が教えて楽しいと実感できる学校づくりを進めます。

生涯学習

若者から高齢者まで、すべての人が元気に活躍し続けられる社会、安心して暮らすことのできる社会の構築を目指します。



家庭や地域の教育力を高める多様な学習活動をはじめ、誰もが、いつでも、どこでも気軽に楽しめるスポーツや文化芸術などを通じて、市民の自主性を尊重した生涯学習を推進します。

平和への歩み

昨年12月、日本原水爆被害者団体協議会がノーベル平和賞を受賞しました。国際社会で核に対する脅威が高まりを見せる今、たいへん意義のある受賞であったと受け止めています。本年は、第二次世界大

戦の終戦から80年目の節目を迎えます。戦争を経験した人々の、二度と戦争を起こさない、起こしてはいけないという思いと、平和の尊さを、次世代にしっかりと語り伝えていく取り組みの一つ一つがますます重要となります。平和への歩みを確実に進める年にしたいと考えております。

行政DXの推進

厳しい行財政環境の中、市民から寄せられるさまざまな期待に応えていくためにも、防災や人財確保をはじめとするすべての行政分野で、前例に捉われない業務改善・業務改革を加速する必要があります。



事務処理手順の抜本的な見直しを図り、行政DX(※3)を強力に推し進め、市民の皆様が便利になったと実感できる行政サービスの向上につなげます。

わくわく楽しいまちづくり

市民・関係団体・民間企業と手を携え、愛着と誇りあふれる「ふるさと昭島」、「住んでみたい、住み続けたい、ここで生業をしたい、生業をし続けたい、訪れてみたい、昭島大好き」と実感できる、多様性と意外性のある、わくわくする楽しいまちであり続けるよう、皆様への感謝の気持ちを忘れずに、誠心誠意、まちづくりに取り組んでまいります。



令和7年度の予算の概要、及び、主な施策については、4~7ページにまとめて掲載しています。

※3 行政手続きのデジタル化や、行政内部のデータ連携などにより、業務の効率化や市民の利便性向上を図ること

令和7年度 予算の概要

令和7年度の一般会計及び特別会計を合わせた予算総額は、838億4606万円で、前年度と比べて62億6935万円(8.1%)増加しました。各会計の予算額は表1・表2のとおりです。

一般会計は563億6000万円で、前年度と比べて56億8700万円(11.2%)増加しました。

歳入では、定額減税の復元による個人市民税の増加や、物価高騰に対応するための交付金などの国庫支出金の増加を見込んでいます。

歳出では、市民総合交流拠点施設やあいぽっくなどの大規模建設事業、子育て支援事業の増加のほか、物価高騰や労務単価の上昇に伴う経常経費の増加を見込みました。

なお、一部を除き、金額は1万円未満を四捨五入しています。
☆詳しくは、財政係へ。

表1 7年度一般会計・特別会計予算額

会計名	当初予算額	前年度比
一般会計	563億6000万円	11.2%増
特別会計	国民健康保険	119億1200万円 2.3%減
	介護保険	101億6608万円 2.0%増
	後期高齢者医療	32億375万円 2.2%増
	中神土地区画整理事業	5億8190万円 51.1%増
	中神駅北側地域整備事業	16億2233万円 32.5%増
	小計	274億8606万円 2.2%増
	合計	838億4606万円 8.1%増

表2 7年度公営企業会計予算額

区分	当初予算額(前年度比)	
	収入	支出
水道事業	収益的収入・支出	21億5433万円(5.7%増) 19億4237万円(3.7%増)
	資本的収入・支出	1047万円(3.1%増) 7億7796万円(9.7%減)
下水道事業	収益的収入・支出	25億9429万円(3.3%増) 24億5919万円(3.7%増)
	資本的収入・支出	3億4622万円(36.6%減) 14億7212万円(15.5%増)

令和5年度決算に基づく財務書類4表を公表

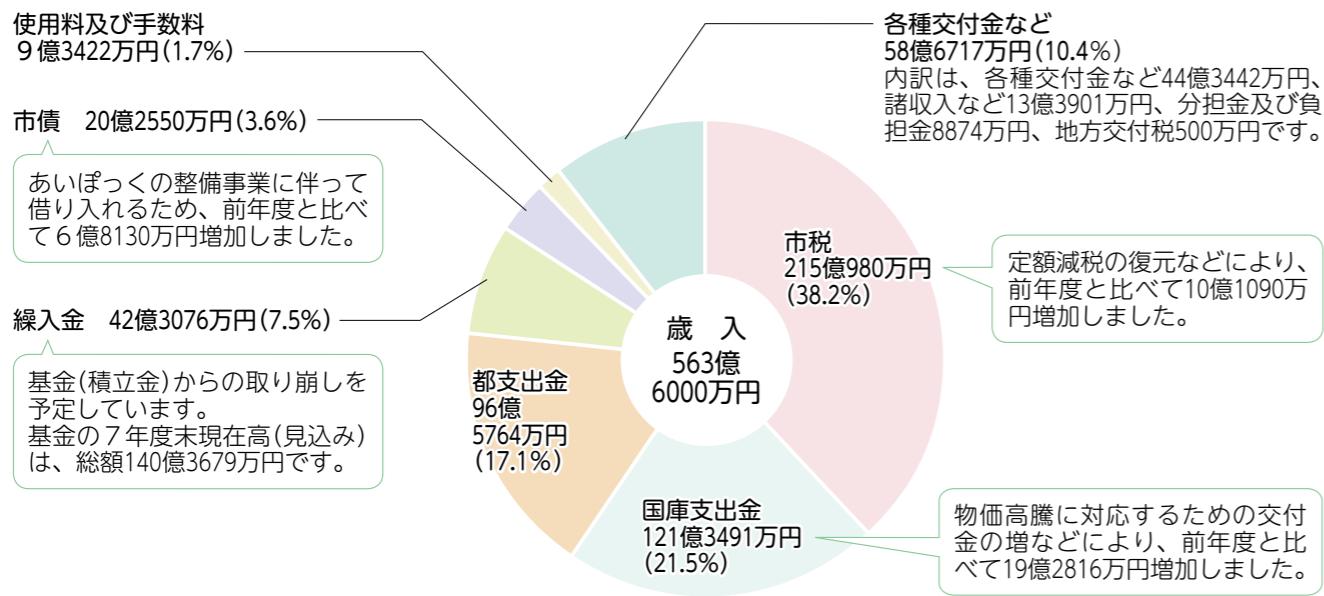
市の資産・負債(借金)がどのくらいあるのかなど、財政状況を詳しく知るために作成したものです。

市役所2階行政資料コーナーでご覧いただけるほか、市ホームページにも掲載しています。

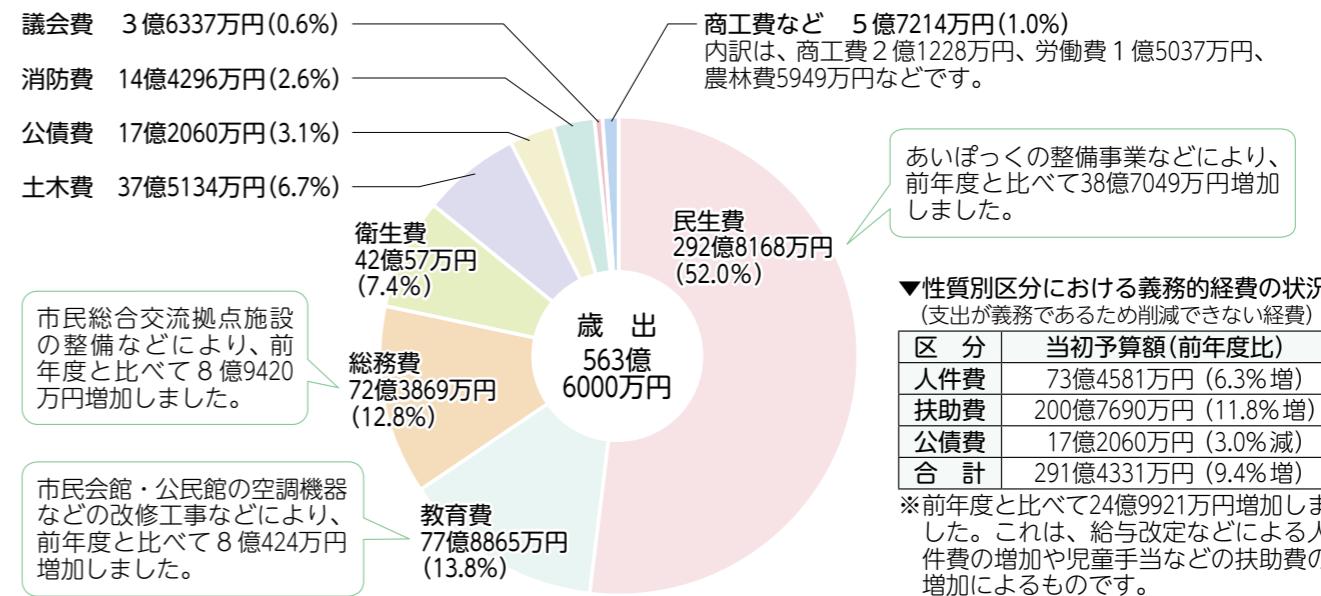
☆詳しくは、財政係へ。



歳入 ~国庫支出金や都支出金、市債などが増加~



歳出 ~民生費や総務費などが増加~



歳入額を市民一人当たりに換算すると… 48万7408円

国庫支出金・都支出金 特定の事業のために国や都から支出されるお金 18万8465円	市税 市民税、固定資産税・都市計画税などの税金 18万6019円	繰入金 基金や特別会計から一般会計に繰り入れられるお金 3万6588円	市債 市が建設事業を行うためなどに国・都・銀行などから長期にわたり借り入れるお金 1万7517円
使用料及び手数料 自転車等駐車場など市の施設の使用料、住民票や税証明書などの発行手数料 8079円	その他 *各種交付金など=各種法令で定められた一定基準によって国や都から市へ配分されるお金 5万740円	*分担金及び負担金=保育料など、市が行う特定の事業により利益を受ける人が、その事業のために支払うお金 *諸収入など *地方交付税=地方公共団体間での財源の均衡化を図るために、国から交付されるお金 *諸収入など	

※7年1月1日現在の人口11万5632人をもとに算出

歳出額を市民一人当たりに換算すると… 48万7408円

民生費 障害者や高齢者に対する社会福祉、児童福祉、生活保護などの費用 25万3232円	教育費 小・中学校教育、社会教育、市民会館・公民館活動などの費用 6万7357円	総務費 庁舎管理、徴税、統計、選挙事務、戸籍、住民登録などの費用 6万2601円	衛生費 ごみ処理、保健衛生、予防接種、環境衛生などの費用 3万6327円
土木費 道路の新設・維持管理、公園の維持管理などの費用 3万2442円	公債費 市債(市が借り入れたお金)の返済のための費用 1万4880円	消防費 消防活動、災害対策などの費用 1万2479円	その他 市議会運営、労働、農業、商工振興、観光などの費用 8090円

※7年1月1日現在の人口11万5632人をもとに算出

令和7年度 主な施策

新規事業を中心に、総合基本計画の施策大綱に基づいて紹介します
(金額は予算額／1万円未満は四捨五入)。このほかの事業などは、「令和7年度当初予算」(市役所2階行政資料コーナーにあり／市ホームページにも掲載)でご覧いただけます。

☆詳しくは、財政係へ。



安全で安心して住み続けられるまち

- ▶家庭用防犯カメラなどの設置費を補助 …… 1550万円
犯罪を抑止するため、個人住宅に設置する場合の費用の一部を補助します。
- ▶防災士資格の取得を補助 …… 70万円
地域防災力の向上のために活動を行う防災士について、その資格取得にかかる費用を補助します。



互いに支え合い、尊重し合うまち

- ▶市民総合交流拠点施設の整備工事を実施
…11億8393万円(令和5~7年度総額19億3200万円)
市民の交流拠点として複合的な機能を持つ施設を令和7年12月1日(予定)にオープンします。
- ▶あいぽっく(保健福祉センター)の整備工事を実施
… 9億224万円(令和7~9年度総額28億1080万円)
- ▶障害・介護職員の研修費などを補助 …… 1049万円
障害・介護サービスに従事する人材を確保するため、資格取得にかかる費用などを補助します。
- ▶外国人日本語弁論大会を開催 …… 311万円
外国人によるスピーチを聞くことで、物事の捉え方や文化が多様であることに気づき、互いに理解を深める機会となるよう開催します。
- ▶口腔機能検診を実施 …… 83万円
嚥む力・飲み込む力の低下を早期に発見するため、75歳以上を対象に実施します。



環境負荷を低減し、 水と緑の自然環境を守るまち

- ▶ねずみ駆除などを実施 …… 534万円
ねずみを駆除するほか、捕獲器の貸し出しを行います。
- ▶カーボンオフセット都市ガス(※1)の導入… 275万円
温室効果ガスの削減のため、市民総合交流拠点施設や市内小・中学校に導入します。

快適で利便性に富んだまち

- ▶都市計画道路3・4・1号を整備… 7億8450万円
清泉中の南側を東西に通る都市計画道路3・4・1号を整備します。
- ▶公園・児童遊園のトイレを改築 …… 1億340万円
つじが丘公園、みほり広場、上川原日枝神社児童遊園のトイレを、バリアフリーにも対応するよう改築します。
- ▶新幹線車両の改修工事を実施 …… 7900万円
つじが丘公園にある新幹線車両が市の魅力の一つとなるよう、補修・塗装をします。
- ▶拝島駅南口地下自転車等駐車場を整備 …… 5830万円
ゲートなどの設備を更新し、キャッシュレス決済対応の精算機を導入します。
- ▶航空機騒音測定機器を更新 …… 1458万円
航空機の飛行実態を把握するため、拝島第二小などに設置している騒音測定機器を更新します。



生活を支え、活力を生み出すまち

- ▶高齢者就労支援施設の整備工事を実施
… 6110万円(令和6・7年度総額1億円)
新たに、シルバー人材センターの拠点となる施設を整備します。

未来を担う子どもたちが育つまち

- ▶学校給食費の無償化を継続 …… 5億2585万円
保護者の負担を軽減するため、引き続き、学校給食費を無償化します。
- ▶保育施設などの給食費や保育料などを補助
… 1億1131万円
保護者の負担を軽減するため、引き続き、給食費などを補助します。更に令和7年9月からは保育施設に通う第1子の保育料を無償化します。
- ▶私立幼稚園などの入園料や利用料を補助 … 6121万円
保護者の負担を軽減するため補助します。
- ▶特別支援学級等介助員の配置を拡充 … 1億3143万円
学級数の増加に対応するため、介助員を増員します。
- ▶部活動指導員の拡充、部活動の地域連携・地域移行の推進 …… 2629万円
部活動の地域連携として、部活動指導員を増員し専門的な指導を受けられる機会を増やします。また、地域移行に向けて、スポーツや文化活動が地域でできるよう環境を整えます。
- ▶学童クラブでのICT機器(※2)の導入 …… 892万円
児童の登所・降所の管理や、連絡帳などを電子化します。
- ▶スクールロイヤーの拡充 …… 251万円
いじめなどの課題に対応するため、法的な助言などをを行うスクールロイヤー(弁護士)を増員します。
- ▶小学校の早朝見守りを実施 …… 250万円
児童の安全な居場所づくりのため、市立小学校のうち6校で試行します。



文化芸術、 スポーツの振興を図るまち

- ▶市民会館・公民館の空調機器などの改修工事を実施
… 3億円(令和7・8年度総額7億8530万円)
- ▶総合スポーツセンターに空調機器を設置
… 1億4210万円
- ▶市民図書館の東部分館を開館 …… 5616万円
市民総合交流拠点施設内に開設します。
- ▶スポーツ施設整備構想を策定 …… 23万円
老朽化が進むスポーツ施設を計画的に整備するため、スポーツ推進計画を踏まえて策定します。



計画実現のために

- ▶市公式ホームページをリニューアル …… 3785万円
情報が探しやすく、スマートフォンなどからも閲覧しやすいホームページを目指します。
- ▶書かない窓口を拡大 …… 1935万円
届出書に記載せずに転居などの手続きができるよう取り組みます。
- ▶キャッシュレス決済端末を導入 …… 453万円
総合スポーツセンター、みほり体育館、アキシマエンシスで、利用料などの支払い時に、キャッシュレス決済ができるようにします。
- ▶戦後80周年記念事業 …… 97万円
昭島での空襲に関する書籍を刊行するほか、市内の戦跡を巡る学習会を実施します。また、老朽化している非核平和宣言塔を改修します。

※1 採掘から燃焼までの工程で発生する温室効果ガスと同じ量を削減するためにさまざまな取り組みを行うことで、実質排出量がゼロであるとみなされる「カーボンオフセット」のしくみのもとで供給されるガス

※2 情報通信技術を利用するための機器